

民間建築物における吹付けアスベスト等 飛散防止対策に関する調査結果



国土交通省は、建築物防災週間(2019年3月1日から3月7日)に実施した、民間建築物における吹付けアスベスト等の使用実態調査の結果を公表しました。

1) 調査内容

- 調査対象:1956年～1989年までに施行された民間の建築物のうち、大規模(概ね1,000m²以上)建築物
- 調査建材:吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウール
- 調査方法:地方公共団体から建築物所有者に報告を求めること等により実施

2) 調査結果

調査対応率…92.4%(前年対比1%増) (対応率=吹付けがされていない建築物 / 調査対象)

調査対象 261,560棟のうち回答があった建築物の数	…	244,211棟
露出してアスベスト等の吹付けがされていない建築物	…	241,660棟
露出してアスベスト等の吹付けがされている建築物	……	15,002棟
指導により対応済みの建築物	……………	11,909棟
未対応の建築物	……………	3,093棟*

※今年度指導により除去・封じ込め又は囲い込みのいずれか対応を行う予定の建物は542棟、指導中の建築物は2,295棟、指導予定の建物は256棟です。

3) 今後の対応

- 吹付けアスベスト等が露出している建築物の所有者等に対し、除去、封じ込め又は囲い込みの対策実施について、より指導を徹底するよう地方公共団体に要請
- 報告の無かった所有者等への継続調査を地方公共団体に要請
- 今後も建築物防災週間において、その後の改善状況をとりまとめ、公表する予定

特定建築物石綿含有建材調査者、アスベスト診断士による採取対応や、(社)日本作業環境測定協会の「石綿分析技術評価事業」にてAランクを取得している当社まで、気軽にお問い合わせください。

資料 [2019年12月24日付 国土交通省報道発表資料](#)

研究開発箇所 鈴木敏純

